

GV-Center V2 / Center V2 Pro



概要

GV-Center V2 ソフトウェアは、GVシステムで発生した動作検知・I/O検知などのイベント発生時のカメラ映像を受信することができるイベントモニタリングを目的としたソフトウェアです。

GV-Center V2は、同時に「5台のGVシステム」に接続することができ「160台のカメラ映像」を受信することができます。

*「GV-Center V2 Pro」では「500台のGVシステム」「800台のカメラ映像」と接続できます。

GV-CENTER V2 VS. GV-CENTER V2 PRO

GV-Center V2

- 最大5台のGVシステムに接続することができ、160台のカメラ映像を受信、管理が可能
- 小規模のセキュリティ設定に適しています。例：住宅地域
- 無料ソフトウェア

GV-Center V2 Pro

- 最大500台のGVシステムに接続することができ、800台のカメラ映像を受信、管理が可能
- 中規模から大規模のCMSネットワークに適しています。例：警報サービス、チェーン店、大企業の環境
- 有料ソフトウェア

アラームイベント

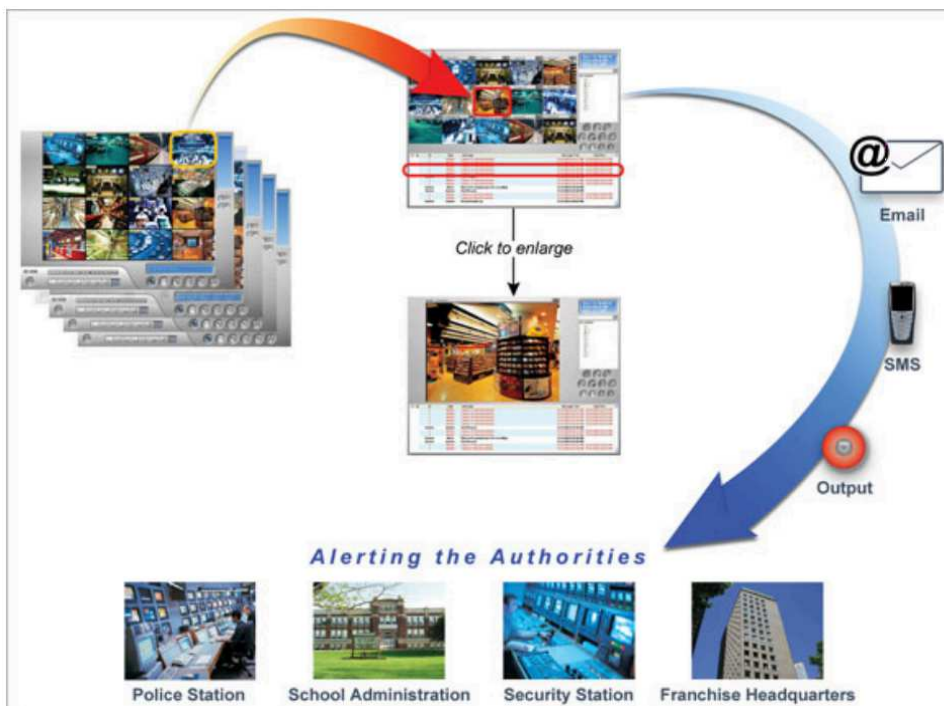
以下の図は、GV-Center V2で最も頻繁に使用される19のアラームイベントを示しています。

アラームイベントが発生すると、GV-Center V2は自動的にアラームを作動させたり、EメールやSMSで通知したり、I/Oデバイスをトリガーして、オペレーターまたは管理センターが即時のセキュリティ対策を実施できるよう、通知することができます。

さらに、GV-Center V2には、イベントの種類や対策、イベントの時間記録など、イベントの経過を詳しく説明する便利なアラームレポート機能もあります。



通報イメージ



管理機能

- **GV-Center V2** : 最大5台のGVシステムに接続することができ、160台のカメラ映像を受信、管理が可能
- **GV-Center V2 Pro** : 最大500台のGVシステムおよびに接続することができ、800台のカメラ映像を受信、管理が可能
- 画像ロス、動体検知、I/O接続切断、I/O検出、ネットワーク切断、アカウントのログイン/ログアウト、監視システム異常、侵入検知、持ち去り検知、置き去り検知、POS異常取引、HDD空き容量不足などに関するイベント通知機能。
- PCやI/Oデバイスによる自動アラーム機能
- EメールまたはSMS通知機能
- 双方向音声通信
- PTZカメラ操作対応
- I/Oデバイス操作対応
- 接続されたGVシステム情報の表示。
(例：ロケーションID、カメラとI/Oデバイスの数、ステータスなどのアカウント情報)
- デュアルモニター表示対応。例：画面1-ライブ映像表示/画面2-イベントリスト表示
- スケジュールの時間範囲を指定して、スケジュールが守られていない時に通知
- イベント情報通知機能
- E-map アラートは、I/Oデバイスやカメラトリガー入力による映像ポップアップ機能 (ロケーションの平面図の表示)
- イベントチャートによる、日/週/月の統計チャートのイベント分析対応
- フェイルオーバーは、録画システムの冗長化に対応
- RSAとAESの暗号化により、安全なネットワークを実現

イベントリスト機能

- 7種類のイベントメッセージの表示：アラーム、添付カメラ映像ファイル、接続状況、動体検知、アカウントのログイン / ログアウト履歴、システムステータス、モジュールトリガー
- イベント発生時のカメラ映像保存
- 重要イベントのブックマーク機能
- 検索条件によるイベントログの絞込み
- Access フォーマットでバックアップ
- カスタマイズのイベントタブ / メッセージの色 (GV-Center V2 Proのみ)

録画機能

- ユーザーが設定したアラートイベント (動作検知、I/O検知) 発生時の自動録画
- プリ/ポストアラーム録画機能

仕様

特徴	GV-Center V2	GV-Center V2 Pro
チャンネルの最大数	160	800
アカウントの最大数	5	500
センサー/アラームの最大数	720 / 720	72,000 / 72,000
リアルタイムオーディオモニタリング		対応
リモートPTZコントロール		対応
リモートI/Oコントロール		対応
自動録画		対応
イベントリストビューア		対応
イベントリストフィルター		対応
デュアルモニター		対応

ネットワーク負荷	非対応
自動接続回復	対応
言語	Arabic, Bulgarian, Czech, Danish, Dutch, English, Finnish, French, German, Greek, Hebrew, Hungarian, Indonesian, Italian, 日本語, Lithuanian, Norwegian, Persian, Polish, Portuguese, Romanian, Russian, Serbian, Simplified Chinese, Slovakian, Slovenian, Spanish, Swedish, Thai, Traditional Chinese, Turkish

最小システム要件

	GV-Center V2	GV-Center V2 Pro
OS 64-bit	Windows 10 / 11 / Server 2016 / Server 2019 / Server 2022	
CPU	Intel Core i3 2130, 3.4 GHz	Intel Core i7 2600, 3.4 GHz
メモリー	4 GB デュアルチャンネル	8 GB デュアルチャンネル
ハードディスク	500 GB	
グラフィックカード	PCI-Express, 1024 x 768, 32-bit color	
Direct X	9.0c	
ソフトウェア	Net Framework 3.5 SP1 and Chart Control	

注:

1. GV-Center V2 (Pro) と GV-Control Center を同じ PC にインストールすることはお勧めしません。
GV-Center V2 (Pro) と GV-Control Center を同じ PC で実行すると、CPU 過負荷エラーまたはシステム障害が発生する可能性があります。
2. GPU デコーディングを実行する場合は、GPU デコーディング仕様を参照してください。

GPU デコーディング仕様

CPU がオンボード GPU に付属しているか、GPU デコーディング用の外部 GPU に接続されている場合、より高い合計フレームレートを達成できます。

オンボード GPU : GPU デコーディングは、下記の Intel チップセットを使用する場合のみに対応しています :

H.264 ビデオ圧縮の場合

- 第2-8世代 Intel Core i3 / i5 / i7 デスクトッププロセッサ
- 第9-13世代 Intel Core i3 / i5 / i7 / i9 デスクトッププロセッサ

H.265 ビデオ圧縮の場合

- 第6-8世代 Intel Core i3 / i5 / i7 デスクトッププロセッサ
- 第9-13世代 Intel Core i3 / i5 / i7 / i9 デスクトッププロセッサ

注 : 第12世以降では、最適な動作させるために、GV-Center V2をV18.4以降にアップグレードください。

外部GPU : GPU デコーディングのコンピューティング機能 (Compute Capability 3.0以上) と 2 GB 以上のメモリを備えた NVIDIA グラフィックカードを使用する場合のみに対応しています。

NVIDIAグラフィックカードの機能について、次を参照してください。

<https://developer.nvidia.com/cuda-gpus>

注:

1. GV-Center V2が対応する、GPUデコーディングを無料で実行可能な外部NVIDIAグラフィックカードは1枚のみです。
2. GeForce GTX1060には対応していません。

オンボードGPU +外部GPU :

オンボードGPUと外部GPUの両方でGPUデコーディングを実行するには、GPUが上記の仕様を満たしている必要があります。

注:

1. オンボードGPUと外部GPUの両方がインストールされている場合は、オンボードGPUをH.264/H.265 GPUデコード用のモニターに接続する必要があります。
2. 最適なパフォーマンスを確保するには、CUDAコンピューティング機能5.0以上が必要です。

ソフトウェアライセンス

無料ライセンス - GV-Center V2	5 アカウント/160チャンネルまで
有償ライセンス - GV-Center V2 Pro	500アカウント/800チャンネルまで
オプションの組み合わせ	1. Center V2 Pro 2. Center V2 Pro + Vital Sign Monitor
ドングルタイプ	外部と内蔵タイプ

注 : Windows がクラッシュまたはフリーズしたときに PCを再起動するハードウェアウォッチドッグを使用するには、内蔵内部GV-USBドングルを使用することをお勧めします。

対応製品

- GV-NVR
- GV-VMS
- GV-AI Guard
- GV-SNVR : GV-SNVR0412 / 0812 / 1612
- GV-IPカメラ (Center V2に対応しないカメラは、GV-Cloud Bridgeを使用しGV-Center V2と接続する必要があります。)

Note:

1. GV-VMS、GV-AI Guard、GV-Cloud BridgeからのAI/PVDイベント、GV-VMSおよびGV-AI Inference Server (GV-AIS) サービスからのSDKイベントに個別対応しています。
2. 有効なソフトウェアのバージョンについては、次の [文書](#) をご参照ください。

オプション

GV-IOボックスシリーズ	<p>GV-IOボックスシリーズ（4ポート/8ポート/16ポート）は、それぞれ4点 /8点/16点のセンサー機器 入力とリレー出力を備えており、DC出力電圧とAC出力電圧両方に対応します。オプションでイーサネットモジュールと4Eに対応し、さらに PoE、TCP/IPおよびRS-485接続にも対応します。</p>
GV-Cloud Bridge	<p>GV-Cloud Bridgeは、GeoVision製を含むONVIF対応カメラをGeoVision製ソフトウェアとモバイルアプリに接続し、監視と管理を統合するように設計されたエンコーダーです。</p>